

ご意見・ご要望を募集中！

あなたの**声**を市政に！
その**声**を形に！
三井みわこは市民の皆様の声を
積極的に市政に届けていきます!!
是非ご意見・ご要望をお聞かせ下さい！



三井みわこに取り組んでほしいこと

Q1. 関心をお持ちのテーマを教えて下さい。

に✓を付けてお答え下さい。(複数回答可)

- 環境・ゴミリサイクル
- 文化・スポーツ
- 医療・保健
- 産業
- 公共交通
- 地域・商店街活性化
- 行政サービス
- 教育・子育て
- 高齢者福祉
- 障がい者福祉
- 防犯・安全
- その他()

Q2. 千葉市を良くする為の提案はありますか？

Q3. 三井みわこに何を望みますか？

Q4. 将来、日常生活動作等の低下によって自分で買い物に行けなくなったときに、食品や日用雑貨などを購入する際、希望される方法はどれですか？

に✓を付けてお答え下さい。(複数回答可)

- 有償の買い物代行サービスを利用する。
- 近所にある宅配など、配達してくれるお店に注文する。
- 家族・知人にお願いする。
- その他()

Q5. 掃除、買い物など専門職（介護福祉士等）でなくともできるサービスについて、専門職ではないが、市の研修を修了し、介護事業者から派遣される方でも利用しますか？

数字に○を付けてお答え下さい。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. わからない

Q6. 将来、介護が必要になった時、どのような場所で生活や療養をしたいと思いますか？

に✓を付けてお答え下さい。(複数回答可)

- 自宅で暮らし続けたい
- 高齢者向けの住宅で暮らしたい
- 特別養護老人ホームなどの介護施設で暮らしたい
- 病院に入院したい

Q7. 介護事業者でなくてもできるゴミ出し等の軽作業について、ボランティア、NPO、地域住民などが地域の支えあい活動として提供するサービスを利用してもよいと思いますか？

数字に○を付けてお答え下さい。

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. わからない

Q8. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加したいと思いますか？

数字に○を付けてお答え下さい。

- 1. 是非参加したい
- 2. 参加してもよい
- 3. 参加したくない

ご意見ご要望がありましたら、
メッセージをよろしくお願ひします。

このアンケートは**043-216-5433**までFAXをお願いします。
ご協力ありがとうございました。

【個人情報に関するお知らせ】

個人情報は厳正に管理し、三井みわこ事務所以外では使用いたしません。

三井みわこ プロフィール

1971年：生まれ 千葉市中央区登戸在住
2002年：NPO法人ハートケアゆい（障がい者の施設）設立
2003年：聖徳大学学院 児童学研究科修士課程修了
2006年：NPO法人政策塾「一新塾」（熊谷市長と同期）卒塾
千葉県教育戦略ビジョン策定作業部会委員
2007年：社会福祉法人「白雪会」の理事に就任、軽費老人ホーム
「ほんだくらぶ」の運営に携わる
2008年：ちはCO2CO2ダイエット推進／県民会議 委員
2010年：千葉市「新市民計画策定のための市民ワークショップ」委員
2011年：千葉市議会議員選挙 初当選
2013年：都市建設委員会副委員長

ご意見・ご要望がありましたら、
右記の連絡先までよろしくお願ひします。

E-mail : mm@mitsui-miwako.com
Twitter ID : 三井美和香
発行：三井 美和香
TEL : 043-216-5432
FAX : 043-216-5433
千葉市中央区登戸 1-11-13-203

三井みわこ
で検索！

なでしこカ!!

三井みわこ 議会報告

第2回定例会 一般質問で登壇！



私は、これまで福祉の視点、女性の視点で高齢者も障がい者も、子どもから大人まで、誰もが「安心・安全に暮らせるまちづくり」を目指して取り組んできました。引き続き、定期会や委員会を通じ、福祉の専門的知識を活かして、積極的に取り組んでいきます。

さて、平成30年第2回定例議会が6月7日～6月21日の間で開催されました。今回は、「ドローンの活用について」「高齢者の安心な暮らしについて」登壇しましたのでご報告いたします。



老朽化した小学校ブロック塀の改修

大阪北部地震で小学校ブロック塀の老朽化による危険が浮き彫りになりました。市では6月19、20日で緊急点検、その後、6月22日～7月6日詳細点検を実施しました。点検結果ですが、対応が必要な個所は以下のとおりです。

①ブロック塀の診断カルテで安全性の判定が「危険」とされたブロック塀等：16校21か所

- ・中央区：登戸小学校、生浜東小学校
- ・花見川区：柏井小学校、幕張小学校、幕張東小学校、幕張中学校
- ・稲毛区：稲毛小学校、都賀小学校、弥生小学校
- ・若葉区：みつわ台南小学校、白井小学校、桜木小学校、千城台南中学校
- ・美浜区：稲浜小学校、高洲第一中学校、稲毛高等学校



②建築基準法に不適合なブロック塀：104校266か所

(2.2mを超えるもの、1.2mを超えて控え壁がないもの、控え壁の間隔が広いもの等)

※①と②には、16校、16か所の重複あり

【今後の対応方針】

①の「危険」とされたブロック塀等の全て及び建築基準法不適合なブロック塀のうち 2.2mを超えるもの(57校91か所)を8月末を目途に、撤去や改修を行うとともに、その後、フェンスの新設等を行います。②の「危険」とはされなかったが、老朽化が著しく改修が必要と思われるもの等は(74校284か所)、上記①の対応完了後、順次、撤去・フェンスの新設や補強工事等を行います。また、学校施設以外の市有施設のブロック塀等の安全点検を平成30年6月22日(金)～7月6日(金)に実施しました。早急に対応が必要な9施設10か所については、8月末を目途に、撤去(全撤去や高さ1.2m以下に)を行うとともに、その後、フェンスの新設等を行います。今後も、安全な環境づくりに、引き続き取り組みます。

平成30年第2回定例会 一般質問

高齢者の安心な暮らしについて



高齢者の方のために、不動産や預貯金などの財産を管理したり、身の回わりの世話のために介護サービスや施設への入所に関する契約を締結したりする後見人などを指定する「成年後見制度」があり、本市では、中央区のハーモニープラザ内にある「成年後見支援センター」が中心となり、さまざまな活動を行っていると聞いています。

成年後見支援センターにおける活動実績と、市民への普及・啓発は？

A 成年後見制度の説明など、一般相談については平成29年度実績で750件、弁護士による専門相談が26件。また、成年後見利用促進シンポジウムなどの講演会を3回実施したほか、民生委員や消費生活センターの研修会など、延べ31会場に講師を派遣、市民向けの啓発用チラシを2万6千部発行し、毎年、市内の全自治会に配布しています。

「日常生活自立支援事業」の実績と課題については？

A 平成29年度の新規契約者は68人、年度末現在の延べ契約者は180人となっています。課題は、まだ潜在的な需要があると考えられることから、支援を必要としている方に制度の仕組みを理解していただけるよう周知・啓発を図り、着実に契約につなげていく必要があります。



●昨年11月、本市は終活支援いわゆるエンディングサポートについての協定をイオンライフと締結し、終活に際して市民からの電話相談に応じるほか、市職員やあんしんケアセンターのスタッフに対

する研修が始まりました。本事業は市民の方の葬式やお墓、相続や遺品処理、医療や介護など多岐にわたる相談に対して、市内30カ所のあんしんケアセンターが受け皿となり、また、イオンライフのコールセンターでも24時間相談を受け付ける等、民間が行政と協働して課題解決を図るものとなっています。

また、さまざまな事情により、ご本人の死後、火葬を行う親族がない場合には、墓地・埋葬等に関する法律に基づき、市が代わりに火葬を執り行っており、将来的には高齢者の増加に比例して、件数の増加も予想されています。

身元が判明しているが、引き取り手のない方の火葬の過去3年間の取扱い件数は？

A 平成27年度は40件、28年度は44件、29年度は52件となっています。

●今年の1月22日、横須賀市に視察に行った際、障害者の子どもを持つ親御さんが亡くなり、障害の子どもさんが親なき後に、当家のお墓の場所もわからなかつた事例を聞きました。エンディングノートでは、介護が必要になったとき、自宅や施設のどちらで介護を受けたいか、余命の宣告や延命治療を受けたいか等々の希望を、あらかじめノートに本人が記入しておき、「もしもの時」の本人の意思表示として使うものですが、これに着目したのが横須賀市でした。

エンディングノートの活用が重要ですが、本市としての見解は？また、講演会やシンポジウム開催予定は？

A エンディングノートは、人生の終焉に向けて、これまでの人生を振り返り、将来の不安を軽減し、残りの人生をよりよく生きるために有益なものであり、「地域包括ケアシステム」の中でも必要なものであると考えています。今年度は、6回程度あんしんケアセンターが講演会を、その他、終末期医療に関するシンポジウムを予定しています。



●本市美浜区においては、急病などの緊急な場合でも救急隊に必要情報が伝えられるよう、既往症、かかりつけ医、緊急連絡先などを記載した「安心カード」を、赤いハートマークがついた袋に入れて冷蔵庫の脇などに張り付けていただく取組みを行っています。この「安心カード」は、ひとり暮らしの高齢者や重度の障害者の方などに対し、災害時等を含めた迅速な救急医療活動に役立てていただくために登録を行っています。

「安心カード」の現在の普及状況は？また、今後の更なる普及・促進に向けての考え方は？

A 美浜区は、平成29年度末現在で5,198枚、一方、美浜区以外の5区では、5区合わせて15,982枚となっています。「各区支え合いのまち推進計画」の中で、市社会福祉協議会地区部会や町内自治会、民生委員児童委員協議会などが配布し、普及促進を図ることを地域の自主的な取組みとして掲載しています。

三井みわこから意見・要望

本市がエンディング・サポート事業を実施したことは一定の評価ができますが、本事業の対象者は、ある程度、資産がないと受けることが難しいのが現状です。親族のいない方の火葬埋葬は、これまで行政が対応していますが、エンディングノートを活用し、一人暮らしの高齢者への普及・促進を図っていただきたいと思います。本市では、日常的に地域を回っているライフルイン事業者や配達事業者等の協力により、高齢者宅の異常を通報してもらい、安否確認をする体制を構築していますが、今後、更なる見守り協定の締結により、日常の生活においても一人暮らしの高齢者の見守りが充実させるよう、求めます。「安心カード」は、一人暮らし高齢者の迅速な救急活動に資することが大きいため、是非、市内全域で普及させるよう、当局が積極的に取り組むよう求めます。



神奈川県立青少年センターを視察！

● 視察の目的

行政による公的なサービスだけではなく、NPO等の民間による、ひきこもり等の青少年やその家族の状況に応じた、柔軟できめ細やかな取り組み、フリースペース等事業費補助金・ひきこもり地域理解促進事業等、民間団体の補助について先進的な取り組みを調査しました。

● 視察内容

同センターでは、フリースペース等の活動に併せて相談活動を実施する民間団体へ補助を行っています。更に、ひきこもり、不登校、非行などで悩む方々をサポートしている民間団体の活動を支援するため、活動スペースの貸し出しを行っています。

引きこもり問題の解決に向けて、ひきこもり青少年の親の会もしくは自助グループまたは支援団体等が企画する講演会・研修会等の事業について、神奈川県立青少年センターが共同して実施することで、団体の自主的な取り組みの活性化及び当事者の家族も含め地域住民を対象に、ひきこもり問題への理解促進事業に補助金を交付しています。

● 事業の成果

本市内にも不登校、ひきこもり等を支援している団体がありますが、運営面での親の負担が大きく、相談数に応じて運営補助を行い支援すべきだと思います。ひきこもり・不登校児童生徒の一人一人の状況に応じて、教育支援センター、フリースクールなどの民間施設と連携し、学習支援などの多様な教育機会を確保する必要があると思います。

